

水準測量用データコレクタLC-100 (Ver 3.2)

1. 入出力制限の変更を可能にしました。

・点検の比高差

	視準線 (点検調整)	コンペンセータ
一等、二等	0.3 mm	0.2 mm
1, 2 級	0.3 mm	0.3 mm
3, 4 級	3 mm	3 mm

・視準距離、標尺の読み、2 読定差リミット

	視準距離	標尺下	標尺上	2 読定差
一等、1 級	50 m	> 0.2 m > 3.2 m	3 m 6 m	< 0 ~ 9.9 mm
(デジタル)				
NA3003	40 m	> 0.2 m	3 m	
DiNi12	40 m	> 0.35 m	2.85 m	
二等、2 級	60 m	なし	なし	< 10 mm
(デジタル)	50 m	なし	なし	< 1 mm
3, 4 級	70 m	なし	なし	

一等、1 級の『観測』で測器がNA3003の場合、標尺の見える範囲が視野の70%以下のときブザーで警告します。

・往復較差

	往復較差
一等、1 級	2.5 mm S
二等、2 級	5 mm S
3 級	10 mm S
4 級	20 mm S

2. 手簿のページナンバーに観測者名の2文字を追加しました。
初期設定での観測者名入力に続き、追加入力出来るようにしました。

例 観測者 M.KOBAYASHI -> MK

手簿の出力 PAGE = MK 2 2

PAGE=MK 22

一等水準観測

自水準点No. 123 至水準点No. 124 (I)

観測日: 2005/05/16 観測時刻: 19 H 47 M 気温 = 20°C

測器: DiNi12 番号: 123456 観測者: M KOBAYASHI

標尺: LD13 番号: 12345 12346

天候: 晴 風力: 無風 風向:

No	距離	B1	F1	h1	F2	B2	h2	n
1	6	1.7406	1.8058	-0.0652	1.8059	1.7405	-0.0654	1
2	16	0.4047	2.2153	-1.8106	2.2154	0.4045	-1.8109	1
3	18	0.8448	2.7176	-1.8728	2.7174	0.8448	-1.8726	1
4	19	0.2350	2.3206		2.3208	0.2340		1
4	19	0.2352	2.3208	-2.0856	2.3208	0.2352	-2.0856	1
5	24	0.4428	2.4006	-1.9578	2.4005	0.4428	-1.9577	1
6	22	0.5298	2.6156	-2.0858	2.6156	0.5296	-2.0860	1
7	17	0.6743	2.4703	-1.7960	2.4705	0.6739	-1.7966	1
8	15	0.4525	2.4226	-1.9701	2.4226	0.4524	-1.9702	1

自水準点No. 123 至水準点No. 124 19 H 50 M 20°C

固定点No. 1 sd=137 SD=137 sh=-13.6445 SH=-13.6445 平均気温 = 20.0°C

9	25	0.3690	2.7260	-2.3570	2.7261	0.3686	-2.3575	1
10	13	0.4492	2.4417	-1.9925	2.4416	0.4493	-1.9923	1
11	17	0.5361	2.2793	-1.7432	2.2794	0.5360	-1.7434	1
12	24	0.7180	2.7499	-2.0319	2.7496	0.7181	-2.0315	1
13	15	0.4102	2.1506	-1.7404	2.1506	0.4101	-1.7405	1
14	16	0.5561	2.3383	-1.7822	2.3383	0.5561	-1.7822	1

自水準点No. 123 至水準点No. 124 19 H 52 M 21°C

sd=110 SD=247 sh=-11.6473 SH=-25.2918 平均気温 = 20.3°C

014807 S2= T2=

SS= MT=

(II)=S.P.

3. コンピュータ出力に日付単位出力を追加

「データ出力」「コンピュータ出力」で「全出力」の他に「日付単位出力」を追加し、過去のデータを残したときにも、その日のデータのみを出力することが出来るようになりました。過去のデータが重複することが無くなり、手簿の整理が容易になります。